

科目名	教育・学校心理学	後期	2 単位
サブタイトル			
担当者	森下 文		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 教育現場において生じる問題およびその背景について理解し、説明することができる。 教育現場における心理社会的課題および必要な支援について理解し、説明することができる。 教育現場において心理支援を実践するために必要な他者との信頼関係を構築する力を養う。</p> <p>[授業概要] ①教育現場において生じる問題およびその背景、②教育現場における心理社会的課題および必要な支援の2点について講義や少人数によるディスカッション等を通して学ぶ。 授業者の教員としての経験、およびスクール・カウンセラー(公認心理師資格を有する)としての実務経験を生かし、教育現場の現状や課題、支援者としての在り方について講義を行う。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 予習は、事前に配布する授業資料について予習し、疑問点をまとめておくこと。 復習は、授業のあった日のうちにノートを整理し、疑問点があれば関連文献やインターネット等で調べ補充しておくこと。(各回、予習復習を合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス(教育・学校心理学の概要、授業の方法等についての説明) 2. 教育・学校の組織・制度と支援の関係について 3. 教育相談とスクールカウンセリングについて 4. スクールカウンセリングの概要(アセスメント・カウンセリング・コンサルテーション・心理教育・協働・連携) 5. 教育現場におけるアセスメント(パーソナリティ・発達状況・学校での人間関係・環境・家庭状況) 6. 子ども支援の基本的態度と知識 7. 子どもを取り巻く社会状況と課題(虐待・マルトリートメント・ヤングケアラー・貧困等) 8. 不登校の現状と対応 9. いじめ問題 10. 発達障害に関する基礎知識 11. 非行・学級崩壊・学校の危機的状況に関する対応 12. 自傷行為・自死 13. まとめ</p>			

科目名	教育・学校心理学	後期	2 単位
サブタイトル			
担当者	森下 文		
<p>[成績評価方法] 授業内小テスト30% レポート20% 定期試験50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは後日、添削して返却します。 試験については、終了後に解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理2-2/修得した心理学の知識や技能を、社会生活の場においていかにすれば有効に活用できるか判断する力を身につけている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理3-1/心理学とそれに関連する諸分野の知識・技能を、主体的に修得しようとする意欲と姿勢を身につけている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理3-2/人間の多様性を理解し、受け入れ、他者の心に共感していく姿勢を身につけている。 成績評価方法:定期テストとレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理3-3/修得した心理学に関する知識と技能を、他者と協働して社会において活かそうとする姿勢を身につけている。 成績評価方法:定期テストとレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/ 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/ 成績評価方法:レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/ 成績評価方法:レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] レジメ・資料等を作成し、配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)]</p>			